

Press Information

2005-09-01
No.05-14

曙ブレーキ工業(株)欧州ビジネス新展開

曙ブレーキ工業株式会社(代表取締役社長：信元久隆 本店：東京中央区 本社：埼玉県羽生市)は、欧州拠点となるAkebono Europe[以下AESA](CEO：石毛三知之 所在地：フランス ゴネス市)において、新たなOEMビジネスを獲得いたしました。

新ビジネスは、ダイムラークライスラーのE-Class(北米市場向け)に装着されるディスクブレーキパッドであり、ブレーキの鳴きや振動に対する性能が評価され、今回の受注につながりました。生産規模は約15,000枚/月、AESAの100%子会社であるAkebono Arras[以下AASA](COO：ピーターシュミット 所在地：フランス アラス市)で生産されます。

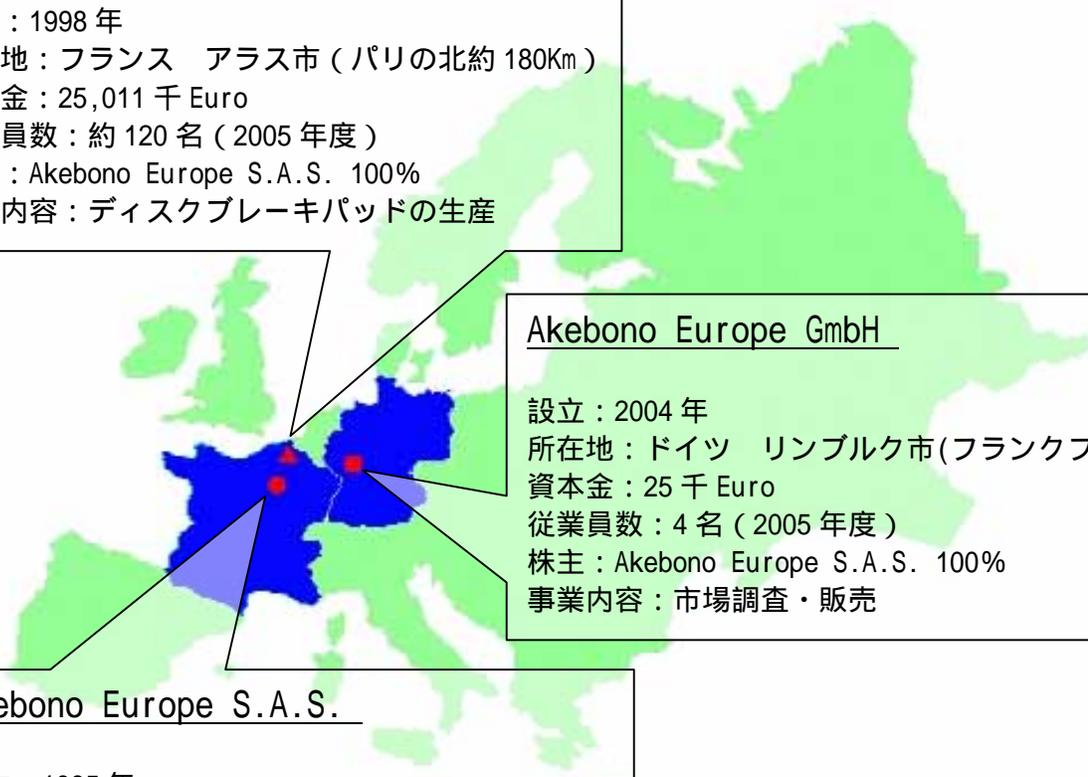
当社では、会社方針である三極体制の確立に向け、高い速度からの制動要求など日米とは要求性能の異なる欧州市場での事業基盤確立に注力してまいりました。1998年のAASA設立により、欧州における開発から生産・販売までの一貫した機能を持ち、2003年には、COOとして現地市場に精通したピーターシュミットを招聘、更に2004年にはドイツ事務所をAkebono Europe GmbH(代表者：ピーターシュミット 所在地：ドイツ リンブルク市)として法人化し、欧州での事業展開を強化してまいりました。その結果、既にAESAでは、従来からの日本・北米市場向けであるAudi(A4,A6,TT)/VW(Passat)に加えて、本年1月から欧州市場向けOpel(Zafira)、Fiat(Croma)および北米市場向けPontiac(Solstice)、Saab(9-3)でのOEMディスクブレーキパッドビジネスがそれぞれスタートしております。

akebonoの欧州ビジネスは2005年4月からの3ヶ年新中期経営計画「Global 30」に向けたスタートを切る事ができました。現地でのプレゼンスも高くなってきており、今回の新ビジネス獲得もそれを裏付けるものです。ますます激化する欧州自動車メーカー間の競争の中で部品企業への課題もこれまで以上に厳しいものとなっておりますが、以降のビジネスに向けた展開も進展しており、今後も「Global 30」の達成に向けて着実なビジネスの拡大を図ってまいります。

< 欧州拠点概要 >

Akebono Arras S.A.S.

設立：1998 年
 所在地：フランス アラス市（パリの北約 180Km）
 資本金：25,011 千 Euro
 従業員数：約 120 名（2005 年度）
 株主：Akebono Europe S.A.S. 100%
 事業内容：ディスクブレーキパッドの生産



Akebono Europe GmbH

設立：2004 年
 所在地：ドイツ リンルク市(フランクフルト郊外)
 資本金：25 千 Euro
 従業員数：4 名（2005 年度）
 株主：Akebono Europe S.A.S. 100%
 事業内容：市場調査・販売

Akebono Europe S.A.S.

設立：1985 年
 所在地：フランス ゴネス市（パリ郊外）
 資本金：25,176 千 Euro
 従業員数：約 40 名（2005 年度）
 株主：曙ブレーキ工業(株)100%
 事業内容：市場調査・研究開発・販売

< 2005年以降の欧州OEMビジネス概要 >

車種名	SOP	計画数量 (月産)	備考
Opel (Zafira)	2005年1月	約25000枚	欧州市場向け
Fiat (Croma)	2005年1月	約10000枚	欧州市場を中心として他地域も含む
Pontiac (Solstice)	2005年1月	約5000枚	北米市場向け
Saab (9-3)	2005年5月	約10000枚	北米市場向け
Mercedes (E-Class)	2005年6月	約15000枚	北米市場向け